

アフガン大使 「平和は尊い」

原爆資料館を見学

アフガニスタンのセ
イエド・ファティミ駐
日大使が30日、広島市
中区の平和記念公園を
訪れ、原爆資料館を見
学した。ファティミ大
使は「戦争がいかに残
酷かつ悲惨で、平和が

いかに尊いかを考え
た」とかみしめるよう
に語った。

ファティミ大使は、
前田耕一郎館長の案内
で、原爆投下直後の被
害を再現したパノラマ
模型や、放射線の人体
への被害を説明するパ
ネルに見入った。爆発
時の2千度近い熱線で
表面が泡状に膨れた瓦
の前では、前田館長か
ら促されて真剣な表情
で瓦に手を伸ばし、感
触を確かめた。

前田館長（奥）の説明を受けながら原爆の熱線にさらされた瓦に触るファティミ大使



大使は1990年代
に当時の政権で公共
厚生相も務めた医師。
この日は国連訓練調査
研究所（ユニタール）
広島事務所で、同国の
妊産婦の死亡率低下へ
の取り組みを講演し
た。

（金崎由美）

31 May 2011, Chugoku Shimbun
H.E. Dr. Sayed M. Amin Fatimie, Ambassador of the
Islamic Republic of Afghanistan to Japan, visited
Hiroshima Peace Memorial Museum and commented
about the importance of peace.